

令和８年度 IMABARI REHELM プロジェクト推進業務委託
公募型プロポーザル評価項目及び評価基準

1 基本方針

本業務の受託者の選定にあたっては、「令和８年度 IMABARI REHELM プロジェクト推進業務委託仕様書」等の関係書類を基本としたうえで、提出された企画提案書の内容、プレゼンテーションでの説明及び質疑応答から、各提案者の次項の審査項目について評価を行い、受託候補者の順位付けを行う。

2 評価項目、評価の視点及び配点

評価は 100 点を満点とし、評価項目別に次のように配点する。

評価項目			評価基準	配点
(1) 業務遂行力	経営規模・専門技術・実施体制		①事業を適正に遂行できる経営規模、専門技術及び人員体制が確保されているか。	10
	類似業務実績		②本業務と同規模の業務委託の実績（実施中を含む。）は十分にあるか。	5
(2) 企画提案力	実施方針	業務理解度	①本事業の目的（資源循環、自転車安全文化、「Velo-city 2027 Ehime」を見据え世界に向けた発信力の強化）を十分に理解しているか。	10
		プロジェクト全体のブランディング監修・ディレクション	②プロジェクト全体を統括するトータルディレクションの考え方が明確か。	5
			③効果的な情報発信のタイミングや手法が提案されているか。	5
			④事業目的に即したヘルメット回収方法等が企画提案されているか。	5
		プロジェクトのシンボルとなる都市ファニチャーの製作及び設置	⑤設置場所選定や関係部署調整を含め、実現可能性が高いか。	10
			⑥ロゴマークの意匠を反映させ、今治らしさ、機能性、実用性、芸術性を兼ね備えたデザイン提案であるか。	15
			⑦再生素材（アップサイクルマテリアル）の特性を理解した設計であり、耐久性・安全性を十分に考慮しているか。	5
		プロモーション動画の制作	⑧プロジェクトの背景・ストーリーを効果的に伝える構成となっているか。	10
			⑨国内外への発信を意識した多言語（日本語・英語）に対応する内容となっているか。	5
		工程計画		⑩実施に向けて無理のない工程計画が立てられているか。
(3)取組姿勢 （取組意欲・信頼性）			①説明内容が分かりやすく説得力があり、熱意のあるプレゼンテーションとなっていたか。質疑応答が的確であったか。	5
(4) 見積金額			①他の事業者と相対的に比較して価格の妥当性があるか	5

3 評価

- (1) 評価項目（１）から（４）までの評価の際には、次の表に示す評価基準に基づきＡからＥまでの５段階で評価を行い、評価項目ごとの配点に乗じて評価点を算出する。

評価	評価基準	配点の倍率
A	満足	×1.0
B	やや満足	×0.8
C	普通	×0.6
D	やや不十分	×0.3
E	不十分（要件を満たしていない又は示されていない）	×0

- (2) 前項の評価項目（４）①の評価の際には、提案者の見積価格に応じ、次の表のとおり評価点を算出する。

評価基準及び配点の倍率（小数点以下切り捨て）	
評価点（５点）×	$\frac{\text{最低見積価格}}{\text{提案者見積価格}}$

4 受託候補者の決定方法

選定委員会の評価に従い順位付けを行う。ただし、評価項目（１）から（４）までにかかる全委員の平均得点が６割（60点）に満たない場合は要求水準を満たしていないとみなして、受託候補者としてしない。

5 最高得点を挙げた者が２人以上いる場合

最高得点を挙げた者が２人以上いる場合は、①に該当する者を、①が同得点の場合は、②に該当する者を受託候補者とする。

- ① 評価項目（２）企画提案力の得点が最も高い者
- ② 見積金額の最も安価な者

6 提案者が１者の場合は、選定委員会による前記審査を行い、各委員の評価点を合算した得点が総得点の６割を満たすときは、契約の目的を達成できるものと判断し、契約候補者として選定する。